

令和元年決算予算特別委員会 事前評価シート(会派)

①

会派名	公明党
-----	-----

NO.	予算科目	事業名	担当分科会
	一般会計	食生活改善推進事業	保健福祉分科会

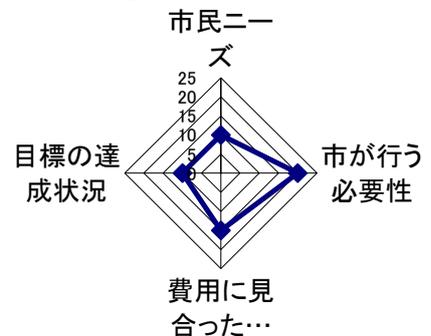
1 項目別評価

評価項目	評価基準(該当右欄に○)	評価点	評価コメント
(1) 市民ニーズ 評価の視点 推進員ではなく、全市民からの視点として求められているか。市民から知られているか。	①きわめてニーズが高い(25点) ②ニーズが高い(20点) ③どちらかといえばニーズが高い(15点) ④どちらかといえばニーズが低い(10点) ⑤ニーズが低い(5点) ⑥ニーズがない(0点)	10	一部の市民にしか知られていない。そのため、委員たちが、食生活を改善し健康づくりに貢献しようとしていることが伝わっていない。
(2) 市が行う必要性 評価の視点 国・県との関係を含め、制度的にどうか。	①きわめて必要性が高い(25点) ②必要性が高い(20点) ③どちらかといえば必要性が高い(15点) ④どちらかといえば必要性が低い(10点) ⑤必要性が低い(5点) ⑥必要性がない(0点)	20	時代と共に食生活の事情や問題点が変わってきた。現在は食活推進養成は市に移譲され実施されているが、国・県との連携は最新の情報を得るためにも必要。市民の健康づくりのため、推進員の増員と地域に広げる活動をする。
費用に見合った効果 評価の視点 現在の守谷市の予算は他市と比較しても少ない。しかし効果は上がっている。その点から考える。	①きわめて効果的である(25点) ②効果的である(20点) ③どちらかといえば効果的である(15点) ④どちらかといえば効果的でない(10点) ⑤効果が少ない(5点) ⑥効果がない(0点)	15	生活習慣病の増加が問題であり、日頃の食生活を改善することが重要である。推進活動が一般財源で実施されている。少ない予算で効果が上がっているのはよい。
目標の達成状況 評価の視点 目的が明確化されているか。食育推進計画における、数値目標等は達成されているか。	①きわめて成果がある(25点) ②成果がある(20点) ③どちらかといえば成果がある(15点) ④どちらかといえば成果がない(10点) ⑤成果が少ない(5点) ⑥成果がない(0点)	10	市民の健康づくりの推進のために、ボランティアで食育普及活動を実施するという目的は明確化されている。地域での食育活動に力を入れていくための工夫が必要である。

2 全体評価

評価	評価基準	合計評価点
4	6 きわめて良好である 100点	55
	5 良好である 76~99点	
	4 おおむね適正である 51~75点	
	3 問題がある 26~50点	
	2 かなり問題がある 1~25点	
	1 不適正である 0点	

事前評価レーダーチャート



理由

少ない予算と人数で事業を活発に行っているため、おおむね適正である。他の健康増進事業や食育推進計画と連携し、市民の食生活全体に係わる取り組みとして、食生活推進員には更に活躍していただきたい。そのためには、推進員の人数の見直しや、養成講座受講者の積極的な活動が望まれる。また、子育て世代包括支援センターやまちづくり協議会とも連携して進めることで、成果は更に上がものとする。

課題と反省

令和元年決算予算特別委員会 事前評価シート(会派)

①

会派名	日本共産党
-----	-------

NO.	予算科目	事業名	担当分科会
	一般会計	食生活改善推進事業	保健福祉分科会

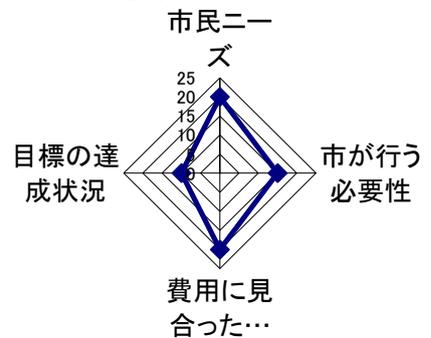
1 項目別評価

評価項目	評価基準(該当右欄に○)	評価点	評価コメント
(1) 市民ニーズ 評価の視点 推進員ではなく、全市民からの視点として求められているか。市民から知られているか。	①きわめてニーズが高い(25点) ②ニーズが高い(20点) ○ ③どちらかといえばニーズが高い(15点) ④どちらかといえばニーズが低い(10点) ⑤ニーズが低い(5点) ⑥ニーズがない(0点)	20	推進員は活発に活動しているが、市民全体には認知度低い。市から周知を徹底させ、食育事業との連携も必要。
(2) 市が行う必要性 評価の視点 国・県との関係を含め、制度的にどうか。	①きわめて必要性が高い(25点) ②必要性が高い(20点) ○ ③どちらかといえば必要性が高い(15点) ④どちらかといえば必要性が低い(10点) ⑤必要性が低い(5点) ⑥必要性がない(0点)	15	歴史のある事業であり、国民の食生活の啓発につながる事業である。国、県から市町村に求められている事業であり意義はある。
費用に見合った効果 評価の視点 現在の守谷市の予算は他市と比較しても少ない。しかし効果は上がっている。その点から考える。	①きわめて効果的である(25点) ②効果的である(20点) ○ ③どちらかといえば効果的である(15点) ④どちらかといえば効果的でない(10点) ⑤効果が少ない(5点) ⑥効果がない(0点)	20	予算が少ないわりに、推進員は、食生活啓発のために、親子料理教室、食育出前講座など頻繁に実施している。啓発紙芝居(古くなってる)などの費用を増やすべき。
目標の達成状況 評価の視点 目的が明確化されているか。食育推進計画における、数値目標等は達成されているか。	①きわめて成果がある(25点) ②成果がある(20点) ○ ③どちらかといえば成果がある(15点) ④どちらかといえば成果がない(10点) ⑤成果が少ない(5点) ⑥成果がない(0点)	10	目的の明確化は必要。数値目標に関して、年間参加者など統計必要。

2 全体評価

評価	評価基準	合計評価点
4	6 きわめて良好である 100点	65
	5 良好である 76~99点	
	4 おおむね適正である 51~75点	
	3 問題がある 26~50点	
	2 かなり問題がある 1~25点	
	1 不適正である 0点	

事前評価レーダーチャート



理由

実際に推進員協議会が実施している活動に参加してみた。若いパパと子どもなどの参加も見受けられ、料理教室の必要意義を感じた。一見豊かさの影で、足りない食生活意識など、現代改めて見直す時期と感じた。

課題と反省

予算を増やして、この事業の認知度を高める。

令和元年決算予算特別委員会 事前評価シート(会派)

①

会派名	もりや新風会
-----	--------

NO.	予算科目	事業名	担当分科会
	一般会計	食生活改善推進事業	保健福祉分科会

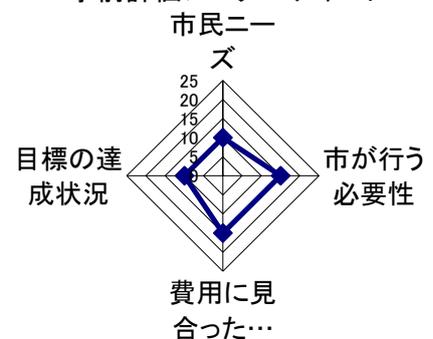
1 項目別評価

評価項目	評価基準(該当右欄に○)	評価点	評価コメント
(1) 市民ニーズ 評価の視点 推進員ではなく、全市民からの視点として求められているか。市民から知られているか。	①きわめてニーズが高い(25点) ②ニーズが高い(20点) ③どちらかといえばニーズが高い(15点) ④どちらかといえばニーズが低い(10点) ⑤ニーズが低い(5点) ⑥ニーズがない(0点)	○ 10	市民への周知が十分とは言えないが、親子料理教室や高齢者向けの健康づくり等、地域活動は定着しているようにも思える。一部の市民しか活用されていない現状ではニーズは低いとしかいえない。
(2) 市が行う必要性 評価の視点 国・県との関係を含め、制度的にどうか。	①きわめて必要性が高い(25点) ②必要性が高い(20点) ③どちらかといえば必要性が高い(15点) ④どちらかといえば必要性が低い(10点) ⑤必要性が低い(5点) ⑥必要性がない(0点)	○ 15	国・県との関係から推進委員の員数が不足すれば補充すれば良い程度の認識しかないように思える。他市の取り組みでは積極的な市町村もあり、内容を研修したうえで、取り組みを明確にすべきではないか。
費用に見合った効果 評価の視点 現在の守谷市の予算は他市と比較しても少ない。しかし効果は上がっている。その点から考える。	①きわめて効果的である(25点) ②効果的である(20点) ③どちらかといえば効果的である(15点) ④どちらかといえば効果的でない(10点) ⑤効果が少ない(5点) ⑥効果がない(0点)	○ 15	個別の推進委員の活動は限定的だが認知されている。活動の拡大が食育の推進に効果があると判断されれば、予算を見直すすべきと考える。
目標の達成状況 評価の視点 目的が明確化されているか。食育推進計画における、数値目標等は達成されているか。	①きわめて成果がある(25点) ②成果がある(20点) ③どちらかといえば成果がある(15点) ④どちらかといえば成果がない(10点) ⑤成果が少ない(5点) ⑥成果がない(0点)	○ 10	食育推進委員の活動が具体的な効果、例えば高齢者の医療費の軽減や子供たちの健康診断で改善がみられるなど、明確な数値には出していない。食育の推進は啓発活動として参加数の増加等を数値目標として活動すべきと考える。

2 全体評価

評価	評価基準	合計評価点
3	6 きわめて良好である 100点	50
	5 良好である 76~99点	
	4 おおむね適正である 51~75点	
	3 問題がある 26~50点	
	2 かなり問題がある 1~25点	
	1 不適正である 0点	

事前評価レーダーチャート



理由

評価点は問題があったが、推進委員に問題があるとの判断ではない。食育推進事業に対する行政側の取り組みが国・県との関連のみで捉えられており、対応がおざなりになってきたと思われる。食育推進に関して市と推進委員との問題の共有がなされていないのが問題だと思えます。

課題と反省

令和元年決算予算特別委員会 事前評価シート(会派)

①

会派名	もりや清流会
-----	--------

NO.	予算科目	事業名	担当分科会
	一般会計	食生活改善推進事業	保健福祉分科会

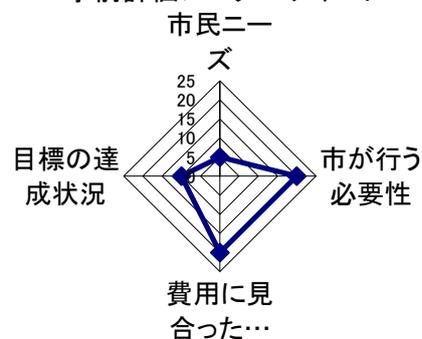
1 項目別評価

評価項目	評価基準(該当右欄に○)	評価点	評価コメント
(1) 市民ニーズ 評価の視点 推進員ではなく、全市民からの視点として求められているか。市民から知られているか。	①きわめてニーズが高い(25点) ②ニーズが高い(20点) ③どちらかといえばニーズが高い(15点) ④どちらかといえばニーズが低い(10点) ⑤ニーズが低い(5点) ⑥ニーズがない(0点)	5	長く続いている事業にも関わらず、推進員の存在自体を知らない市民も多い。市民のニーズが高いとは言えない。
(2) 市が行う必要性 評価の視点 国・県との関係を含め、制度的にどうか。	①きわめて必要性が高い(25点) ②必要性が高い(20点) ③どちらかといえば必要性が高い(15点) ④どちらかといえば必要性が低い(10点) ⑤必要性が低い(5点) ⑥必要性がない(0点)	20	国、県との関係を考えて、守谷市だけ行政による取り組みを辞めるという選択肢は考えにくい。
費用に見合った効果 評価の視点 現在の守谷市の予算は他市と比較しても少ない。しかし効果は上がっている。その点から考える。	①きわめて効果的である(25点) ②効果的である(20点) ③どちらかといえば効果的である(15点) ④どちらかといえば効果的でない(10点) ⑤効果が少ない(5点) ⑥効果がない(0点)	20	低コストで実施されている。
目標の達成状況 評価の視点 目的が明確化されているか。食育推進計画における、数値目標等は達成されているか。	①きわめて成果がある(25点) ②成果がある(20点) ③どちらかといえば成果がある(15点) ④どちらかといえば成果がない(10点) ⑤成果が少ない(5点) ⑥成果がない(0点)	10	目標自体が不明確である。推進員の活動回数等でなく、市民全体に対して何が届いたかという視点が必要。また、食育推進計画の数値目標も網羅的に並べている印象で、意欲や魅力を感じない。

2 全体評価

評価	評価基準	合計評価点
4	6 きわめて良好である 100点	55
	5 良好である 76~99点	
	4 おおむね適正である 51~75点	
	3 問題がある 26~50点	
	2 かなり問題がある 1~25点	
	1 不適正である 0点	

事前評価レーダーチャート



理由

事業自体が非常に長く継続されている割には、市民から存在自体を知られていない。原因として、推進員ではなく市民全体のためにある事業であり、何を市民に届けるかという視点が不足していた可能性が考えられる。全国的な組織もあり、守谷市だけ辞めるというわけにはいかないが、継続するからには市民全体から魅力ある目標を掲げ、より興味と感心を引くように努めるべき。

課題と反省

令和元年決算予算特別委員会 事前評価シート(会派)

①

会派名	もりや創世会
-----	--------

NO.	予算科目	事業名	担当分科会
	一般会計	食生活改善推進事業	保健福祉分科会

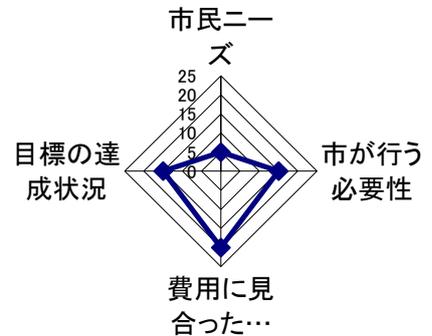
1 項目別評価

評価項目	評価基準(該当右欄に○)	評価点	評価コメント
(1) 市民ニーズ 評価の視点 推進員ではなく、全市民からの視点として求められているか。市民から知られているか。	①きわめてニーズが高い(25点) ②ニーズが高い(20点) ③どちらかといえばニーズが高い(15点) ④どちらかといえばニーズが低い(10点) ⑤ニーズが低い(5点) ⑥ニーズがない(0点)	5	市全体から見ると、認知度は低いと思われる。現場を見た状況では、受講者には好評と感じた。
(2) 市が行う必要性 評価の視点 国・県との関係を含め、制度的にどうか。	①きわめて必要性が高い(25点) ②必要性が高い(20点) ③どちらかといえば必要性が高い(15点) ④どちらかといえば必要性が低い(10点) ⑤必要性が低い(5点) ⑥必要性がない(0点)	15	第二次守谷市食育推進計画を進める上で関連が深い「食生活改善推進事業(食生活改善推進員)」と連携をとり、進めるべきと思う。
費用に見合った効果 評価の視点 現在の守谷市の予算は他市と比較しても少ない。しかし効果は上がっている。その点から考える。	①きわめて効果的である(25点) ②効果的である(20点) ③どちらかといえば効果的である(15点) ④どちらかといえば効果的でない(10点) ⑤効果が少ない(5点) ⑥効果がない(0点)	20	少ない予算(費用)で頑張っている。
目標の達成状況 評価の視点 目的が明確化されているか。食育推進計画における、数値目標等は達成されているか。	①きわめて成果がある(25点) ②成果がある(20点) ③どちらかといえば成果がある(15点) ④どちらかといえば成果がない(10点) ⑤成果が少ない(5点) ⑥成果がない(0点)	15	定期的に講座を開催。また、市民からの依頼があれば、会の中で講師を派遣し、食育と食生活の改善を進めている。

2 全体評価

評価	評価基準	合計評価点
4	6 きわめて良好である 100点	55
	5 良好である 76~99点	
	4 おおむね適正である 51~75点	
	3 問題がある 26~50点	
	2 かなり問題がある 1~25点	
	1 不適正である 0点	

事前評価レーダーチャート



理由

「食生活改善推進事業(食生活改善推進員)」を知られていない中、メンバーは食生活PRについて頑張っている。第二次守谷市食育推進計画との連携を強めて行けば、認知度や食事から来る疾病も減少すると期待が持てる。

課題と反省

令和元年決算予算特別委員会 事前評価シート(会派)

①

会派名	もりや未来
-----	-------

NO.	予算科目	事業名	担当分科会
	一般会計	食生活改善推進事業	保健福祉分科会

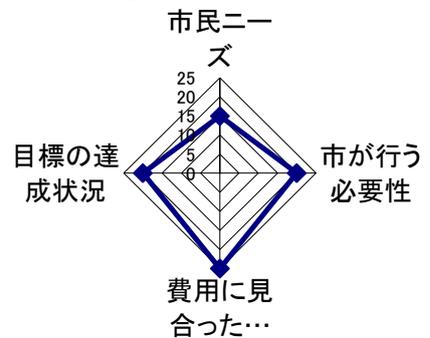
1 項目別評価

評価項目	評価基準(該当右欄に○)	評価点	評価コメント
(1) 市民ニーズ 評価の視点 推進員ではなく、全市民からの視点として求められているか。市民から知られているか。	①きわめてニーズが高い(25点) ②ニーズが高い(20点) ③どちらかといえばニーズが高い(15点) ○ ④どちらかといえばニーズが低い(10点) ⑤ニーズが低い(5点) ⑥ニーズがない(0点)	15	市民全体からは活動内容等, 認知度は低いと思うが, 必要としている市民からはリピーターも多く, ニーズはある。
(2) 市が行う必要性 評価の視点 国・県との関係を含め, 制度的にどうか。	①きわめて必要性が高い(25点) ②必要性が高い(20点) ○ ③どちらかといえば必要性が高い(15点) ④どちらかといえば必要性が低い(10点) ⑤必要性が低い(5点) ⑥必要性がない(0点)	20	全国的に各自治体で行われている。市が開催する養成講座(4ヶ月にわたり7回)終了後に「食生活改善推進員」となり, 全くのボランティアである。当初は栄養不足等の問題解決であったが, 現在は違う食育等の角度から必要である。
費用に見合った効果 評価の視点 現在の守谷市の予算は他市と比較しても少ない。しかし効果は上がっている。その点から考える。	①きわめて効果的である(25点) ○ ②効果的である(20点) ③どちらかといえば効果的である(15点) ④どちらかといえば効果的でない(10点) ⑤効果が少ない(5点) ⑥効果がない(0点)	25	市の予算は少額であり, 改善員は1000円/1年の会費を納めている。43人のメンバーで, 特に調理実習の活動は90回の開催で, 527名の参加。児童クラブ, 高齢者グループ, 3歳児健診時や特定健診時に啓発活動等
目標の達成状況 評価の視点 目的が明確化されているか。食育推進計画における, 数値目標等は達成されているか。	①きわめて成果がある(25点) ○ ②成果がある(20点) ③どちらかといえば成果がある(15点) ④どちらかといえば成果がない(10点) ⑤成果が少ない(5点) ⑥成果がない(0点)	20	第二次食育推進計画がある。直近のアンケート結果は, ◆朝食をとっているか? H29は72.5% H30は72.9% ◆主食副菜をとっているか? H29は49.7% H30は53.6% ◆塩分控えめか? H29は36.7% H30は39%と微増

2 全体評価

評価	評価基準	合計評価点
5	6 きわめて良好である 100点	80
	5 良好である 76~99点	
	4 おおむね適正である 51~75点	
	3 問題がある 26~50点	
	2 かなり問題がある 1~25点	
	1 不適正である 0点	

事前評価レーダーチャート



理由

市民にとって重要な取組です。少ない予算で, ボランティアで行っている。適正な事業である。

課題と反省